

武豊町地域公共交通会議 第21回 会議 議事録

日時：平成27年12月24日（木）

10:00～11:30

場所：庁舎2階 全員協議会室

1. 会長あいさつ

○事務局

- ・ただいまから「武豊町地域公共交通会議」の第21回会議を開催させていただきます。
- ・委員の皆様方には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。
- ・それでは、会議資料の次第に従いまして、取り進めさせていただきます。はじめに、開会にあたりまして、会長であります町長の初山からごあいさつさせていただきます。

○初山町長（武豊町長）

- ・おはようございます。お世話になっております。年末のご多忙のところ出席ありがとうございます。
- ・コミュニティバス事業は、平成22年7月から利用者数は順調に推移しています。地域公共交通活性化再生法の一部改正があり、地域公共交通網形成計画を本年4月に策定させていただきました。
- ・この計画に基づき本年10月にルートと時刻表の変更を行い、運行しています。
- ・商工会のリフォーム部会におきまして、停留所での休憩できる場所をご提供頂きました。
- ・ルート変更による利用者数の推移ですが、これまで1日100人程度でしたが、10月、11月の利用は、130人前後に増えました。あわせて事業変更しました事前予約制タクシーも10月は24人、11月59人と増えてきております。事業が浸透してきたのかなと理解しています。
- ・また、地方創生の補助金をうけて、車両にラッピングをしようと考えています。
- ・本日は、報告事項1件、審議3件を予定しています。慎重なご審議を賜りますようよろしくお願いいたします。

○事務局

- ・議事に入らせていただきます。
- ・本日は、委任状を4名の委員の方からいただき、代理出席していただいておりますので、よろしくお願いいたします。
- ・また、2名の委員（愛知県知多建設事務所維持管理課、愛知県半田警察署）から欠席の報告を受け、武豊町商工会から遅刻との報告をうけておりますが、過半数を超える委員の方のご出席を頂いておりますので、規定に定める（第6条第3項）開会要件を満たしております。
- ・なお、この会議は公開で行い、開催内容につきましても町のホームページなどで広くお知らせしますので、よろしくお願いいたします。

○伊豆原座長

- ・それでは議事次第に従い進めさせていただきます。
- ・忌憚のないご意見をいただき、使いやすいバスにするよう寄与していきたい。よろしくお願いいたします。

2. 議事

●報告事項1 武豊町コミュニティバス・タクシーの利用実績について

○事務局

・資料説明

○伊豆原座長

・ありがとうございました。ご意見、ご質問ありますか。

○白木委員（愛知運輸支局）

・イオンでの乗降利用数はわかりますか。

○事務局

・10月から乗り入れ開始しています。10月の乗車数は240人、赤ルートの利用者数2,891人の利用に対して、240人の利用がありました。11月は239人の利用です。2,649人の利用の内、239人の利用がありました。

○伊豆原座長

・ありがとうございました。他にありますか。

・町長からもありましたように、利用がかなり増加してきています。サービス向上で利用が増えました。イオン半田店への乗り入れなどいろんな対応をしていただいている結果です。

・また転換後2カ月ですので、委員の皆さんからまわりの人に利用頂くように言ってもらいながら、また、利用者の意見を聞きながら改善を進めて欲しいと思います。

・特に無ければ、報告を確認いただいたとして次に進めます。

●第1号議案 南部青ルートの一部走行区間の変更について

○事務局

・資料説明

○伊豆原座長

・知多乗合から追加説明をお願いします。

○勝田委員（知多乗合株）

・事業前に試走を繰り返して黄色のルートにしました。現状でも見渡しは悪くなく、通常は問題がないのですが、対向車が来るときに停車・待機します。赤いルートは現状よりほんの少しだけ、幅員がわずかに広い。走行距離は伸びるが、運転時分はほとんどかわらないで運行できるため、より安全に運行したいため変更したい。

○伊豆原座長

・実際に運行してみると、赤いルートの方が安全性が高まるということ。

・ルートの変更については、公安協議が必要ですが、どうでしょうか。

○事務局

・警察協議は行いました。特に指摘はありません。ダイヤの変更もありません。

○田邊委員（大足区長）

・私もよく利用する場所。幅員が狭いので少し気を使って運転するところ。変更したほうが良いと

思います。

○伊豆原座長

- ・地元の人も変更すべきと言っている。合意いただいて、愛知運輸支局に申請することになりますが、許可は1か月後ぐらいになりますか。

○白木委員（愛知運輸支局）

- ・1か月後ぐらいになります。

○伊豆原座長

- ・当該変更について宜しいでしょうか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・皆さんの合意を頂いたとして進めます。ありがとうございました。

●第2号議案 「転車台前」停留所の停留場所及び名称の変更について

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・転車台前を廃止して、地域交流センターを新たに設置、移設する。如何ですか。

○田邊委員（大足区長）

- ・利用者数が全体の3%以下でも廃止すべきではない。利用者がゼロでなければ、廃止すべきでない。利用される人の中に、足の不自由な方もいる。今の場所から新しい地域交流センターには横断歩道を渡ることになる。既存のバス停を残して新設をお願いしたい。

○事務局

- ・利用者が少しいるのは承知している。残したほうが良いという意見が多いのであれば、この場で検討をお願いして調整したい。

○田邊委員（大足区長）

- ・検討の余地があるのであればよかった。大足地区の常会で協議をしたい。持ち帰り協議をさせてほしい。

○中川委員（長尾部長）

- ・観光スポットとして転車台という言葉があり、そうした言葉を残して追加したほうが良いのではないか。

○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・移設するのと、残して追加するのが良いのか、どちらが良いのかよくわからない。
- ・時刻表のすりなおしが必要という説明を聞いた。費用の面以外で、良い点、悪い点を確認したい。

○事務局

- ・移設したいと考えている。これまで停留所は300mの間隔で整備してきた。地域交流センターに

1本化するのには、転車台という名前がなくなるという点でよくないのであれば、「転車台」という名称を残しつつ、転車台前に近い地域交流センターの場所に移設したい。道路の横断が生じるが、地域交流センターで待ってもらう方が安全だと考えた。

○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・今の説明は、先ほどとかわらない。既存の停留所を残すと300mのルールにあわなくなるという理由はわかるが、それだけで移設するというのはわからない。

○森下委員（老人クラブ）

- ・今使われている人がいる。バス停を設置しても、利用がなければ通過するだけなので、時間もかわらない。そのまま残したほうが良いと思う。

○木村代理（社会福祉協議会大岩）

- ・住宅街から転車台前を使う。地域交流センター側は住宅街ではない。住宅街から地域交流センターを利用すると、交差点経由となり歩くことになる。高齢者には負担が増える。新設、追加すべき。

○伊豆原座長

- ・意見を整理すると、既存のバス停を残しながら、新設する方向かと思う。バス停を残すことのデメリットはあまりない。事務局の方で再検討をいただけないか。
- ・地域の常会でわざわざ確認することは、今後もバス停の設置の際に検討が必要となるので大変だろう。地域の検討の前に、事務局で再検討をお願いしたい。

○事務局

- ・残す方向で整理します。転車台前から次の停留所まで2分間で設定しています。4月1日の変更に関に合わせたいため、時刻表等の修正を含めて進めたい。

○伊豆原座長

- ・4月1日に間に合わすように、公安協議、愛知運輸支局への報告、時刻表の変更も必要となるがよいか。

○白木委員（愛知運輸支局）

- ・2月末までに愛知運輸支局には申請をお願いしたい。

○事務局

- ・次回の交通会議は3月を予定しています。転車台前の停留所を残す前提で、協議をいただいたとして、了承いただけないか。

○伊豆原座長

- ・事務局から、転車台前の停留所を残し、地域交流センターを新設する条件でよろしいか。

○田邊委員（大足区長）

- ・地域交流センターの新設は地域にとってありがたいこと。転車台前も残してもらいたいため、その両方ができれば問題ない。

○伊豆原座長

- ・公安協議などの調整をお願いします。地域には、新設されることをお知らせしてほしい。
- ・停留所を残し、新設することを前提として事務局は対応をお願いします。

- ・こうした調整でよろしいか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。新設として申請対応を進めます。

●第3号議案 平成27年度地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。平成27年度の自己評価の説明をしていただきました。
- ・資料の最初の2枚は、全国共通の様式で本省に提出。カラー資料は中部運輸局様式で、地域のPDCAの状況を、形成計画が立案されたところはその内容を提出するものです。1月18日が提出期限となっています。
- ・第三者評価と呼ばれる、補助金を頂戴している自治体の出席による、評価委員会も実施します。愛知県の自治体は2月15日に行われます。
- ・評価資料の提出には、この交通会議の事前承認が必要ですので協議を行います。

○中川委員（長尾部長）

- ・評価期間の1年をみると利用者数は増えた。将来を考えると5年後を想定することになる。将来は、自動車の利用が減るといった高い目標値があると思う。
- ・今は、まだ利用していない人がいる。たくさんの意見を聞いて、こうした会議で方向性を決めていく、議論を続けたい。

○事務局

- ・形成計画では平成30年度に中間見直しを行うと計画で位置付けている。利用促進活動は、利用促進友の会といっしょに進め、町単独でもラッピングや音声案内による観光案内対応など行う。
- ・事業の評価は毎年行い、利用者を伸ばしていくように見直しを行っていききたい。

○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・問題があつてから作業部会を開催し議論するのではなく、定期的に作業部会を行って、モニタリング、協議すれば良い。作業部会で解決できることがあると思うので、定期的な作業部会の開催をお願いしたい。

○事務局

- ・作業部会でも、このPDCA・評価を実施するようにしていきたい。

○田邊委員（大足区長）

- ・区長会をもっと利用してほしい。これまで結果の報告ばかりだった。事務的な報告よりも、区長会は議論する場として活用してほしい。
- ・PDCAを行っているのは会議に参加して初めて知った。地域でもよい議論ができると思う。

○伊豆原座長

- ・良い意見を頂戴した。自己評価など資料をつくってから報告確認ではなく、案をつくる前から意見を聞いたらどうか。全体の仕事量が増える懸念があるが、区長等に相談して地元を活用すれば

よいという意見だと思う。

○森下委員（老人クラブ）

- ・バス停看板について、土台の大きさは50×50cmある。道路の縁石から離れた所に置いてあるものもある。道路の歩道は、歩行者や自転車が利用するが、その際に邪魔になっていないか。
- ・歩道上の車道寄りの所に置いてほしい。置き場所を見てもらいながら、歩行者に都合のよいようにしてほしい。

○伊豆原座長

- ・大変難しい問題をご指摘いただいた。公安協議、道路構造令からの確認など安全性、建築限界（制限）といったルールに基づいて設置されている。事務局にはもう一度チェックをしてもらいながら、地域の皆さんにもルールについてご理解いただきながら、対応を進めるようにしてください。
- ・10月から新しいルートで運行している中で、今年の9月までの評価を行うことになるので、評価期間が分かりにくいと思う。自己評価についてよろしいでしょうか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・特にご異議ないということで了承頂き、愛知支局に提出をお願いします

3. その他

○事務局

- ・バス・タクシールート変更に係る説明会等の実施について
- ・地方創生による補助を活用したコミュニティバス利用促進事業について
- ・利用促進事業の活動計画当について（利用促進友の会の活動計画）

○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・利用促進友の会の活動について、報告する。
- ・観光スポットを巡るツアーを観光ボランティアと一緒に対応している。スタンプラリーも実施。産業まつりではブースをつくって利用案内している。無料利用券の配布も対応。以前は、写生大会なども実施した。
- ・新しい取り組みとして、サプライズとして56人目の利用者にプレゼントを配ることを予定している。
- ・利用促進活動をしていると、自動車を持っている人はバスを使ってくれない。自分は75歳になったら、車の運転をやめようと思っている。車をやめて、その移動の全てをバスでカバーするのは無理で、タクシーの活用も必要となるが、バス等の利用価値はあると思う。今の人は、最初からバスを使う気持ちにはなっていない。
- ・イオンに行くとするばどれだけ時間がかかるかシミュレーションしてもらおうと、行きは20分で行けるが、帰りは時間がかかる。でも時間にゆとりがある場合は利用できるし、ゆとりがなければタクシーを使えばよい。タクシー利用でも関係者の理解を頂いて、割引されるような仕組みになればと思う。こうしたことを作業部会で議論できればと思う。

○森下委員（老人クラブ）

- ・行きは良いが帰りに時間がかかる。車だと数分で行ける。逆方向のバスができないかどうか、検討していただければと思う。町がどれだけ負担しているのかわからないが。

○伊豆原座長

- ・ご意見としていただきます。タクシー業界からご意見ありますか。

○山田委員（愛知県タクシー協会）

- ・タクシー業界の状況を報告させていただく。12月22日付で、名古屋市を除く、愛知県内のタクシー運賃改定が認められました。市町村には書面でご案内する。改定内容は、近距離でも利用しやすい運賃に改定し、初乗り区間は運賃を安くした。
- ・また、割引制度の導入を検討している。それぞれの会社の経営状況によるが、免許返納者への割引制度などの導入を考えている。利用者を増やすことの対応を行う。
- ・買い物時に帰路は荷物が多いことやバスのダイヤがあわない際に、バスでなくタクシーを利用するなど利用者が公共交通の利用方法を選択する工夫がみられます。公共交通の利用を進める施策支援を行政でも工夫をお願いしたい。
- ・武豊町の公共交通会議は、他の地域と比べると住民の意見が活発に出される会議だと思う。
- ・タクシーも利用できるようにいろいろ提案させて頂く。

○伊豆原座長

- ・タクシー協議会で話し合いをされていることも紹介ください。

○山田委員（愛知県タクシー協会）

- ・タクシー協議会を行っています。利用促進の協議だけでなく、タクシーが地域に役立つための検討を行っている。台数が多すぎて収益があげられない、運賃の改定などの協議だけでなく、業界の活性化、タクシー利用のメニューについて精査することを予定している。いろいろな提案をしていきたいと思います。

○伊豆原座長

- ・公共交通について、バスとタクシーの連係、上手な使い分けなどが進めばと思う。タクシー業界もいろいろ考えている。全てを一度に改善できないが、徐々にでも考えられる取り組みを進められたらと思う。
- ・免許返納について、私事ですが、三好に住んでいる私の兄が10月に返納した。バスの運行本数は、1時間から1時間半に1本ぐらいの運行状況。最初は不便だと言っていたが、今は使いようによっては面白いと言っている。最近、まちをぶらぶらしたら結構おもしろかったと言っていた。彼には、そうした体験をメモして、老人クラブなどで話をしてくれと言っておいた。
- ・時間的な制約があれば難しいが、ゆとりがあれば面白いと思う。制約があればタクシーを使ってもよい。免許の更新もシビアになっているため、これから免許返納をしなければいけない人が増えてくる。利用してみたら楽しいことなど情報を共有する仕組みが必要。みんなで使う仕組みが必要だと思う。知恵を出しながら、利用する試みを進めるべき
- ・最近の若者は、免許を持つ人も減ってきた。若年層のクルマ離れが増えてきた。彼らは鉄道・バスを使うことに何ら抵抗がない。我々の世代とは違う。若い世代にとっても使いやすいバスにしていく。高齢者だけでなく、若い世代にとって、それぞれの目線でも配慮していくとありがたい。
- ・地方創生の補助金活用など楽しみです。
- ・進行を事務局にお返しします。

4. 閉会

○初山町長

- ・長時間にわたり中身の濃い協議をいただきありがとうございます。若者の免許を持たなくなった話は新鮮だった。世代を超えたバスの利用を進める対応を考えたい。

- ・武豊町では、免許返納を行うと2年間、無料でバスを利用できる券を配っている。どこまで認知されているかわからない。うまくPRしていきたい。
- ・転車台前のバス停は残す方向で対応する。
- ・バス停看板の置き場所、区長会との情報交換方法について、意見ありがとうございました。これまで、交通会議があり、順序を間違っはいけないと慎重に対応してきた。うまく地域との関係を進めたいと思う。
- ・公共交通を良くなるようにしていくのが我々の命題として、今後も対応していきたい。本日は、ありがとうございました。

○事務局

- ・以上を持ちまして終了する。ありがとうございました。

以上